

ふれあい

2006年
第18号
4月号

〒372-0817 群馬県伊勢崎市連取本町12番地1 TEL 0270-25-5022(代) FAX0270-25-5023
ホームページ : <http://www.hospital.isesaki.gunma.jp>

院外処方せん 4月より拡大

薬剤部長 都丸大器

当病院では従来より国の推進する「医薬分業」を地域薬剤師会と協力して実施し、ほとんどの患者さんに「院外処方せん」を発行してまいりました。「医薬分業」とは医師が処方せんを発行し、最寄りの「保険薬局」の薬剤師がそれに基づいて調剤する制度です。

今年1月より院内掲示やパンフレット等でお知らせしてまいりましたが、4月からは院内でお薬を受け取られている患者さんにつきましても「院外処方せん」を発行し、お住まいの近くや近隣の「保険薬局」でお薬を頂いてもらうようになります。また「かかりつけ薬局」を決めておきますとお薬の安全な使用に結びつく良い点がいくつもあります。

○あなたの「薬歴（お薬の服用記録）」を作ってくれます。

○いろいろなお医者さんから同時に処方せんが出たときなど、お薬の飲み合わせ（相互作用）や重複がないか確認してくれます。

○大衆薬（お店で買う薬）との飲み合わせも確認してくれます。

○お薬について十分な時間をとり説明をしてくれます。

以上のようなので是非とも「かかりつけ薬局」を持つことをお奨めいたします。「保険薬局」は患者さんがご自由にお選びになれます。場所等で分からないことがありましたら、薬剤部窓口やファックスコーナーの係にご遠慮なくお尋ね下さい。

理 念

愛ある医療、誠実な医療

基本方針

1. 患者さんの意思を尊重し、信頼される安全な医療サービスに努めます。
2. 地域中核病院として医療従事者の育成を図り、救急医療と高度な医療の充実に努めます。
3. 関係機関と連携し、健全な病院経営に努めます。

ピロリ菌について

副医療局長 松本純一

ピロリ菌は1983年オーストラリアのウォーレンとマーシャルによって発見され、この功績により2005年ノーベル医学賞を受賞しました。

ピロリ菌は胃・十二指腸潰瘍の発症に大きく関わっており、ピロリ菌を取り除く（除菌する）ことで潰瘍の再発はほぼ防げます。また胃癌をはじめ慢性萎縮性胃炎、胃MALTリンパ腫、胃過形成性ポリープなどいろいろな病気の発症や進行に関係があると考えられています。

胃の中はpH 1～2と強い酸性の状態にあり、生物が生きていける環境にありませんが、ピロリ菌はウレアーゼという酵素を使い胃の中の尿素をアンモニアに変えることで胃液を中和し生存できる環境を作り上げています。感染経路として乳幼児期の親から子供への家族内感染、子供間の感染など経口感染が考えられています。衛生環境の改善とともにピロリ

菌の感染率は減少していますが、日本人では40歳以上では70%以上の感染率といわれています。

ピロリ菌感染の有無をみる検査には内視鏡を用いる鏡検法、培養法、迅速ウレアーゼ試験、内視鏡を用いない血中抗体価測定、尿中抗体価測定、尿素呼気試験、便中抗原測定などがあります。

ピロリ菌に感染している人のうち実際に潰瘍を発症するのは2～3%といわれており、治療（除菌療法）の対象として保険適応となるのは胃潰瘍、または十二指腸潰瘍の患者さんのみです。治療法としてはプロトンポンプ阻害剤と抗生物質であるアモキシシリン、クラリスロマイシンの3剤を7日間服用。除菌率は80～90%とされています。

健康管理のためピロリ菌陽性の人には年1回の内視鏡検査をお勧めします。

コラム

緩和医療に現場から

その人は毎日病室にやってきたが、あまり長くはいなかった。ご主人は個室で凄まじいスピッドで広がる癌に翻弄されていた。痛み、不眠、首の締まる感じ、痰の絡まりなどが次々に襲い、昨日までできたことが今日はできなくなっていた。その人が傍に居る間はいいが、一人になると落ち着かなくなった。もう付き添って欲しい時期に入ったこと、傍にいて欲しいのは家族であることを話さなくてはならなかった。眼を合わせずに聴いていたその人は、「怖くて傍にいられなかったのです、まだ大丈夫だと思っていたのです、いや思いたかったのです、明日からつきまします。」と泣きながら答えた。

二日後、「付き添ってみて主人がどんなに私に傍に居てもらいたかったかわかりました。今朝はご飯を食べてくれました。」そう言ってその人はにっこりした。傷ついたご主人を支えて地の果てまでも一緒に歩いていこうと決意した女性がそこにいた。

S・ペロニカ



ニューフェイス登場

～新しい看護師を迎えて～



今年もまた、希望を胸に抱いた新しい看護師（保健師・助産師を含む）がきた。しかし、現実の医療現場は厳しい。患者様を目の前にしたときベテランの看護師も、新入職まして新卒の看護師の区別はないからである。看護師は看護師である。

当病院ではプリセプター・シップを取り入れた教育を行っている。4年目の看護師が新しい看護師の指導を1年間担当するシステムである。新卒看護師は今まで学校で学んできた知識・技術が医療現場で発揮できずリアリティショック（理想と現実の乖離）に陥るといわれている。このショックを和らげ職場に適應させていく教育がプリセプター・シップであり、知識・技術の指導よりもこころの支援に重点をおいたものである。

日本看護協会（看護師の職能団体）は新卒後1年以内に辞めていく看護師は8.8%（11人に1人）であると発表した。定着を困難にしている要因を3点挙げている。

1. 卒業時の能力と職場で求められる能力にギャップがある
2. 現代の若者の精神的な未熟さ弱さ
3. 看護師に従来より高い能力が求められるようになっていく

こうした背景をもつ新しい看護師であるが病院・看護部全員で大切に育てて行きたいと考えている。ご家庭の新社会人同様暖かく見守っていただきたいと思ひます。

看護部長 木暮 悦子

訪問看護ってご存知ですか？

～あらゆる在宅療養者を支援いたします～

自宅での安定した療養生活を支援するために、看護師が家庭を訪問して療養上のお世話や診療の補助を行う機関です。医師の指示のもとに、私たち訪問看護師が、自宅で安心して療養できるよう援助させていただきます。利用者や家族のプライバシーは守ります。

<援助内容>

- | | | |
|-------------------|------------|----------------|
| ①清拭・洗髪等 | ②床ずれの予防と処置 | ③病状の観察と主治医への報告 |
| ④食事指導管理 | ⑤排泄の介助・管理 | ⑥管類の管理 |
| ⑦リハビリテーション | ⑧終末期の看護 | ⑨家族等への介護支援・相談 |
| ⑩医師の指示による診療の補助業務等 | | |

<申し込み方法>

各入院病棟または、外来の医師・看護師、地域連携室相談員、ケアマネジャー、訪問看護ステーションへご一報ください。面談させていただきます

訪問看護ステーション所長 今井好江

ICU（集中治療室）増築工事のお知らせ

当病院の3階の手術室の隣に集中治療室があります。少子、高齢化が進む中、救急医療や疾病の急性期医療を施す必要があるため、このたび厚生労働大臣が定める施設基準に適合した特定治療室設置のため、既存施設の拡充工事をする事になりました。工事の概要は既存部分の北側を延長し、4床から8床にするもので、工事の規模は、増築801㎡ 改修411㎡で総面積1212㎡、建築費374百万円を予定しています。

現在、実施設計が終了したところですが、主な特徴は患者さまの病床として専用するベッド病室面積を20㎡以上確保しておりフロア構成に余裕を持たせ、ナースステ

ーションを中間に設け、すべての病室を直視できる位置に配置するなど、患者さまの安全性・快適性を考慮した集中治療を推進するにふさわしい環境としています。器材室についても専用室として64.5㎡を確保し、スタッフの動線にも配慮した設計となっています。

着工を5月とし平成19年4月稼働を予定としています。工事期間中は、十分な配慮をいたしますが、工事車両の出入り、資材の搬入や振動に対し、宜しくご協力をお願いします。

財務課長 鈴木清一